

技術習得 高い再就職率

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（千葉）が運営するポリテクセンター北海道（札幌）は、ものづくりの分野での再就職希望者を主に受け入れる道内最大規模の職業訓練施設だ。実践的で多様な訓練コースをそろえ、受講者のプロフィールを独自に企業に提供。正規雇用率は8割と高く、受講者の安定した働き口につなげている。

（編集委員 中村康利）

ポリテクセンター北海道

訓練「充実の時間」

今年9月、ポリテクセンター北海道の建築実習室。

住宅施工技術科の受講者約20人が、指導員の指示を受けながら、実物大の模擬住宅でクロスを張り付ける内装実習に取り組んでいた。この科はおおむね40歳以下が対象で、企業実習（約1カ月）を含む計7カ月間の「デュアルコース」だ。受講中の女性（42）は「昨年12月に体調を崩して設計

事務所を辞めた後、回復したので訓練を受けた。前の会社では内勤だったが、今度は現場で大工の仕事をし

企業に求職者情報

ポリテクセンターは全国に61カ所。道内は札幌のほか旭川、釧路、函館にある。受講するにはハローワークへの求職申し込みが必要。



クロスの張り方を学ぶポリテクセンター北海道の受講者たち

たい」。男性の受講者（37）は「新しい仕事に挑戦したい」と今年1月、印刷会社を退職して受講した。「ものづくりの知識や技術を覚えて、充実した時間を過ごしている。住宅関係の会社で働くことを目指している」と話した。

設備実習室では、ビル管理技術科の約30人が、ボイラーに配管を取り付ける作業を行っていた。飲食店勤めだった男性受講者（43）は「ボイラー技師、電気工事士の資格を取って働くのが目標だ」と語った。

筆記試験と面接に合格すると、標準6カ月間の訓練を受講できる。受講は無料だが、訓練で使う作業服やテキスト、資格の受験などは別途費用がかかる。

道内で最も多くの受講者を受け入れる、ポリテクセンター北海道は2015年度、42コースを開設。定員817人に1123人が応募し倍率は1・4倍で、受講者の4分の1は女性だった。訓練修了者の就職率は84・7%。就職者全体に占める正規（常用）雇用の比率は77%だった。道内計4

カ所では定員1557人で就職率86・6%、正規雇用率は78%だった。

高い就職率を支えているのは、コンピューター制御で設計・生産を一貫して行うCAD/CAMシステムの技術習得や、中高年の求人が多いビル管理などの実践的な訓練だ。各コースの定員は15〜20人と少人数で、毎月何らかのコースを開講し、求職者を常時受け入れている。

訓練修了が見込まれる受講者の年齢、就職を希望する職種、取得資格、本人の自己PRなどを記した「人材情報」も、就職先を探すのに役立つ。各センターが毎月作っており、ポリテクセンター北海道は15年度、札幌などの約千社に配布し、約700件の求人があった。

ポリテクセンター北海道は「今年、遠隔地や子供がいてセンターに来られない人向けに、インターネットを使った在宅型の職業訓練を民間企業に委託して始めた。多くの人の就職に役立つよう、いろいろなコース開設に取り組みたい」と話している。ポリテクセンター北海道は011・640・8761（平日午前9時〜午後5時）。